## 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

Γ	1						
出願人 三菱レイヨン株式会社							
	様						
あて名	T-PK						
0,00			PCT				
〒 108−8506		国際調査機関の見解書					
東京都港区港南1丁目6番41号			(法施行規則第40条の2)				
			【PCT規則43の2.1】 ————————————————————————————————————				
		発送日					
		(日.月.年)	08. 2. 2005				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
出願人又は代理人	•	今後の手続きについては、下記2を参照すること。					
の書類記号 PCT-04-023	882						
国際出願番号	国際出願日		優先日				
PCT/JP2004/016039		0. 2004	(日.月.年) 30.10.2003				
		· _					
国際特許分類 (IPC) Int. Cl'	B01D63/02, C02F3/06, C		6, C02F1/44,				
出願人(氏名又は名称)							
三菱レイヨン株式会社							
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
1. この見解書は次の内容を含む。	•	•					
, = .	※ 第Ⅰ欄 見解の基礎						
第11 棚 優先権							
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成							
第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如							
X 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明							
X 第VI欄 ある種の引用文献							
第四欄 国際出願の不備							
第四欄 国際出願に対す	第四欄 国際出願に対する意見						
2. 今後の手続き							
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国							
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。							
ない音を国際争務局に選知していた。	場合を除いし、この兄所	存替は国际ア帰番1	直接的の取りの允许省とみなされる。				
   この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か							
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当							
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。							
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。							
3. さらなる詳細は、様式PCT/IS	A/220の備考を参照	(すること。	<u> </u>				
見解書を作成した日							
21. 01. 2005							

見解書を作成した日
21.01.2005

名称及びあて先
日本国特許庁(ISA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員)
斉藤光子
電話番号 03-3581-1101 内線 6429

## 国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/016039

□ この見解審は、下記に示す場合を除くほか、国際出版の言語を基礎として作成された。 □ この見解審は、 話による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調整のために提出された P C T 規則は 3及 U23.1 (b)にいう翻訳文の言語である。 2. この国際出版で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解審を作成した。		
□ この見解書は、		
それは国際調査のために協出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。     この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解書を作成した。     a. タイプ		·記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
<ul> <li>2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解答を作成した。</li> <li>a. タイプ</li></ul>	この見解書は、	、
以下に基づき見解客を作成した。 a. タイプ	それは国際調	査 <mark>のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。</mark>
以下に基づき見解密を作成した。 a. タイプ	•	
以下に基づき見解音を作成した。 a. タイプ	この国際出願で開	『示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
□ 配列表に関連するテーブル		
□ 配列表に関連するデーブル  書面 □ コンピュータ読み取り可能な形式  こ 提出時期 □ 出願時の国際出願に含まれる □ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された □ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された □ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。  補足意見:	- カノブ	□ <b>和</b> 列率
□ コンピュータ読み取り可能な形式 □ コンピュータ読み取り可能な形式 □ 出願時の国際出願に含まれる □ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された □ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された □ さらに、配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の関示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。  補足意見:	. 947	
提出時期 出願時の国際出願に含まれる この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。 補足意見:		<b>配列表に関連するテーブル</b>
提出時期 出願時の国際出願に含まれる この国際出願と共にコンピューク読み取り可能な形式により提出された 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された ころらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の嫌述書の提出があった。		
提出時期 出願時の国際出願に含まれる	フォーマット	書面
提出時期 出願時の国際出願に含まれる		「
□ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された □ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された □ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。		[ コンヒューク試み取り可能な形式
□ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された □ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された □ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の傑述者の提出があった。 補足意見:		
出類後に、調査のために、この国際調査機関に提出された  さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。  非足意見:	提出時期	[ ] 出願時の国際出願に含まれる
□ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。 補足意見:		この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
」さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。 「新足意見:		
<ul> <li>た配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。</li> <li>記足意見:</li> </ul>		出願後に、調査のために、この国際調査機関に従出された
た配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。 補足意見:		
	補足意見:	
		•

## 国際調査機関の見解費

1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-19	
進歩性(IS)	請求の範囲 <sub>。</sub> 請求の範囲 <sub>。</sub>	1-19	
· 産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-19	

## 2. 文献及び説明

請求の範囲1-19

文献1:JP 07-232040 A (三菱レイヨン株式会社)

1995.09.05,特許請求の範囲,図1

文献2: JP 2002-035553 A (三菱レイヨン株式会社)

2002.02.05,特許請求の範囲,図1-5

文献3: JP 11-123319 A (三菱レイヨン株式会社)

1999.05.11, 特許請求の範囲, 図1-2, 図5-6

文献4: JP 05-261254 A(三菱レイヨン株式会社)

1993.10.12, 特許請求の範囲, 図1-7, 図9

は、中空糸膜からなるシート状中空糸膜の端部を固定部材によって固定した、中空糸膜モジュールに関する一般水準を示す文献である。

請求の範囲8-15

文献5: JP 2002-370006 A (三菱レイヨン株式会社)

2002.12.24,特許請求の範囲

文献6:WO 2003/020405 A1 (三菱レイヨン株式会社)

2003.03.13,特許請求の範囲,第14頁第19行-第15頁第

10行

は、三層複合中空糸膜に関する一般水準を示す文献である。

請求の範囲18、19

文献7: JP 2003-033776 A (株式会社クラレ)

2003.02.04,特許請求の範囲

は、細菌を付着させた中空糸の内部にガスを供給するバイオリアクタに関する一般 水準を示す文献である。

国際調査機関の見	見解書	国際出願番号 PCT/JP2004/016039		
第VI欄 ある種の引用文献				
l. ある種の公表された文書(PC	T規則43の2.1及び70.10)			
出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日(有効な優先権の主張 (日、月、年)	
WO 2004/028672 A1 [P, X]	08. 04. 2004	26. 09. 2003	27. 09. 2002	
	·			
		•		
			·	
2. 魯面による開示以外の開示(P	CT規則43の2.1及び70.9)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
ま面による開示以外の開示の種類 	書面による開示以外の開示の (日.月.年)		5開示以外の開示に言及してい 皆面の日付(日. 月. 年)	